

<ここに総説、論壇、研究ノート、研究論文のいずれかを記す 12pt 左寄>

日本マクロエンジニアリング学会「MACRO REVIEW」への投稿の手引

題名:1 行を1 行として中央に書く(14pt, B=太字)以下説明はイタリアック

氏名:1 行を1 行として中央に書く(12pt, B)

所属:1 行を1 行として中央に書く(12pt, B)

連絡先、E-mail, Home Page (HP)などを記してもよい

その場合は日本マクロエンジニアリング学会HPにもそのまま掲載

日本語はMS 明朝、英語は原則 Times New Roman、pt 字体は手引き Word 版に原則従う

<要旨:11pt>

「MACRO REVIEW」(マクロエンジニアリング学会誌)へ、あなたの論文や意見等を投稿しませんか。編集委員会では、皆様からの原稿の投稿をお待ちしています。「MACRO REVIEW」へ、論壇、総説、研究論文、または研究ノートを投稿する場合は、次の投稿規程と投稿の手引きに従ってください。また、「マクロ学会通信」も会員の皆様の情報交換の場としてご活用ください。不明な点があれば、編集委員会にお問い合わせください。

<キーワード:11pt>

1 行を1 行として中央に書く(11pt)。ひとつの言葉は一つ概念を表すものとする。(例:「環境と経済成長」は「環境」と「経済成長」の2 語に分ける。)

(1 行空け)

Title in English is Required:

Capitalize Words:題名のイニシャルは大文字に(14pt, B)

Author NAME(s):姓は全て大文字に(12pt, B)

Affiliations (12pt, B)

Such contacts as e-mail or Home page could be written if the author desires.

<Abstract>

English abstract is required, while Japanese is not. (11pt)

<Keywords>

English, Japanese (11pt)

(1 行空け)

1. MACRO REVIEW 投稿規程:大見出し:2 行を1 行として中央に書く(12pt, B)

1.1 投稿資格:中見出し:1 行を1 行として左端に書く(11pt, B)

投稿原稿の著者(連名の場合は1 人以上)はマクロエンジニアリング学会正会員または法人会員とする。但し、編集委員会が認めた場合はこの限りではない。

(1)小見出し 小見出し及び本文:1 行を1 行とし1 コマあけて左端に書き、1 コマあけて本文を続ける(11pt)。

1.2 投稿原稿の種類と様式

マクロエンジニアリングに関する価値ある他誌に未発表の原稿であって、論壇、総説、研究論文、または研究ノートのいずれかとする。また原稿は原則として日本語(明朝体)または英語(Times New Roman)によって書かれたものを受理するが、編集委員会の認める場合は、日英以外の言語の

単語の使用も認める。英語原稿はタイトル及び要旨は日本語訳も併記する。氏名、所属、およびキーワードもできるだけ日本語訳あるいは漢字(中国語等)を併記する。

- (1) 論壇 本学会誌に相応しい有益な提言、論評などを述べたもので、刷り上り 6 ページ程度とする。
- (2) 総説 本学会に関係ある特定の問題について、従来の研究を総合的にまとめたもの、またはこれから発展する新しい分野の展望をまとめたもの、あるいは著者の研究成果または調査結果について著者の意見を含めて論じたもの。刷り上りは 8 ページ程度とする。
- (3) 研究論文 本学会に相応しい独創的な研究であり、新しい事実あるいは価値ある結論を含むもの。刷り上りは 6 ページ程度以上とする。
- (4) 研究ノート 研究論文に準ずる内容を有する短信、速報、既に発表された論文の補遺、または新しい研究の提案(共同研究者を募ることも可能)。刷り上り 4 ページ程度とする。

1.3 投稿原稿の取扱い

(1) 投稿 原稿は E-mail 添付ファイル等の電子媒体により日本マクロエンジニアリング学会事務局に送付する。原則として、「投稿の手引き」に従って書かれた原稿のみ受理する。受理年月日は、編集委員会が受理した年月日とする。

(2) 採否 原稿の採否は、編集委員会が決定する。編集委員会は投稿原稿の体裁及び記述について訂正を求めることがある。論壇、総説、研究論文、及び研究ノートは編集委員会で査読者を選定する。研究論文の採否については、原則として編集委員以外の、専門的に判断できる 2 名の査読者による査読結果に基づいて、編集委員会が総合的に判断する。

訂正を求められた原稿の著者は、編集委員会が訂正を求める旨連絡した日より 90 日以内に訂正版を再提出する。この期間内に何の連絡もない場合は投稿を撤回したものと看做す。

(3) 著作権 「MACRO REVIEW」に掲載された記事の著作権は、日本マクロエンジニアリング学会に帰属する。

(4) 原稿料 「MACRO REVIEW」は、発表の場を提供しているので、原則として原稿料または謝礼等は支払わないものとする。

(1 行空け)

2. MACRO REVIEW 投稿の手引

2.1 原稿の書き方

最近の「MACRO REVIEW」の体裁を参考にしてワープロで作成する。Word を推奨する。

- (1) 見出し 本文の区分けは、大・中・小見出しを使用して明確にする。
- (2) 行間隔・文字間隔 原稿は原則として A4 版、1 行 45 字、1 ページ 40 行。
- (3) 段組・余白 1 段組とし余白¹(天地・左右)は 20mm とする。
- (4) 単位 原則として SI 単位系を使用する。
- (5) 図表 原則として頁の上部にレイアウトする。図表の説明は日本語または英語を使用する。図などで掲載しているデータは、元の数値データも掲載するか引用できるようにすることを強く推奨する。

¹ 余白(上下左右)は全て 20mm とする。なお、ヘッダー等の位置は、本文と近づきすぎなければ、本手引きと若干の違いがあってもよい。

- (6) 容量 J-STAGE のオンラインジャーナルに電子ファイル原稿を upload するには.doc 等を.pdf に変換するが、この.pdf が 1MB を超えるとシステム制約上 upload できなくなる。これを回避するために、Word 等のワープロ上で原稿にレイアウトする際に使用する図の容量が小さくなるように.(必要なら pdf ではなく.jpg 等に変換)、Word 等で編集する。

2.2 著者校正と公開時の注意事項

J-STAGE 公開手続きを業者に依頼する前に、原稿内容、配置の確認を行う。その際に編集委員会からの通知の内容に従い、投稿・改訂・受理日(本文最終部分、MS 明朝/ Times New Roman 11pt,) および雑誌名・巻号・頁範囲(各頁ヘッダー右寄せ、Times New Roman 10.5 pt, イタリアック)、各頁番号(各頁中央下部フッター中、Times New Roman 立字体、10.5 pt) を本手引きに沿って、著者自ら、追加する。その際、総ページ数が増えた場合には、その旨を編集委員会に通知する。公開直前には再度、上記のすべての内容を含め、著者校正を再度行う。なお、この際、雑誌名、ページ番号等を、ヘッダー、フッターに追加することで、図等の書式設定法によっては、最悪のケースでは図表がみえなくなるなどのこともありうるので、十分注意のこと。

(1 行空け)

3. 転載内規

MACRO REVIEW に掲載された査読後の論文(査読対象外論文を含む)の下記の電子ファイルを著者本人がインターネットを通じて権利表示(「著作権は日本マクロエンジニアリング学会に属する」、「@」の表示、等)と共に以下の場所に公開すること認める。

3.1 公開場所

以下のいずれかとする。

- (1) 著作者個人の Web サイト
- (2) 著作者が属する機関等の Web サイト(機関リポジトリも含む)
- (3) 研究資金助成機関の Web サイト
- (4) 当該学問分野の非営利的電子論文アーカイブ

3.2 電子ファイル

以下のいずれかとする。

- (1) 本学会が刊行した当該雑誌(紙媒体)または抜刷(別刷)をスキャンしたもの
- (2) 査読を経て accept された原稿ファイル

(1 行空け)

参照・参考文献(11pt, B)

参考文献または参考文献はここに列記してください。(11pt)

著者のプロフィール(所属、主なる活動分野、著作等)を、細線の四角で囲み、挿入できる。希望しない場合には、以下改訂履歴の上の様に、空白行+細線で置き換えてもよい。

投稿日:2020 年 3 月 ** 日; 改訂日:202*年 * 月 ** 日; 受理日:202* 年 * 月**日

(投稿時は、改訂日以降の数字は**としておく)

(1 行空け)

投稿の手引きの改訂履歴: 2017 年 04 月 07 日 全面改訂: 2019 年 10 月 19 日 短信を研究ノートに含める: